




Lコース <杉田地区>

狸寺と子安神社をたずねるコース

— みどころ —

狸和尚や子育ての守り神の伝説に彩られた集落を歩く。富士山の裾野に広がる茶畑の景色が最高。

みどころポイント 石造物  寺社  



距離: 約5km 所要時間: 約2時間

マークの凡例: 観察ポイント ● 説明板 ▲ トイレ  駐車場 P 寺院  神社 
 石造物  ルート —

— コースのみどころ —

①子安神社

安産の守り神として地域で有名な神社であり、拝殿には各集落の子安講が奉納した絵馬がある。昔は「ほうこうさん」(這子さん)という手作りの素朴な人形が奉納された。

②久保の山之神宮と石造物

久保集落の東にある山之神宮である。近くには道祖神・甲子・観音などの石造物がある。

③丸塚の山之神神社

境内に山の神や稲荷などの石祠が並んでいる。神社裏手の公園には、観音像や「南無妙法蓮華経」と彫られた題目塔がある。また、公園北側の道端には「丸塚」の地名の由来である丸い自然石や、双体道祖神、甲子が祀られている。

④新梨の庚申堂

道沿いに建てられたお堂に、享保(1716~1736)の年号が記された「庚申さん」といわれる石塔と、正徳5年(1715)の銘がある石の観音像が祀られている。お堂南の三叉路には道祖神と甲子が祀られている。

⑤馬頭観音

寛延2年(1749)、安永7年(1778)、寛政5年(1793)、天保13年(1842)にそれぞれ造立された4体の馬頭観音が並んでいる。

⑥杉田の水飲み場

日照りの年でも涸れない湧き水で、戦後市営水道ができるまで杉田地区内の約30軒の飲料水として利用されていた。また、村山へ向かう道者(富士登山者)や、富士市天間から山へ草刈りや薪を採りに行く人々の水飲み場でもあった。

⑦滝ノ上の不動さん

天間沢の谷へ下りる途中の岩屋に不動明王像が祀られている。元々ここには安養寺(⑨)の支院龍泉寺の不動堂があったといわれ、付近には六観音など多くの石造物がある。また、ここは以前生活用水として利用されていた杉田用水の水源地であり、用水の開削に尽力した恩智養宗和尚の記念像がある。

⑧杉田氏神社

杉田地区の氏神で、「五躰王子浅間神社」と呼ばれる。「五躰王子」とは、富士山頂の五智如来のことであり、神仏習合の神社である。

⑨安養寺

安養寺には古くから「狸和尚」の伝説が伝わっている。また、恩智養宗和尚が杉田用水を開いたときに出土したという土偶(市指定文化財)が保管されている。

安養寺の狸和尚

昔、杉田の安養寺に大変犬の嫌いな小僧がやって来て、いつのまにか和尚になってしまいました。しかし、和尚になっても犬がいると葬式や法事に行くのを嫌がり、犬を遠くにつなぐようにさせていました。

ある時、和尚は都へ位を取りに行くといって駕籠で出かけましたが、その途中、犬にかみ殺されてしまいました。すると、それは大きな狸だったのです。